



令和2年6月17日

MIKUNI CORPORATION

各 位

会社名 株式会社 ミクニ
 代表者名 代表取締役社長 生田久貴
 (コード番号 7247 東証第1部)
 問合せ先責任者 コーポレート本部 経理室長
 柴田 恒 (TEL. 03-6895-0038)

特別損失の計上、繰延税金資産の取り崩し及び令和2年3月期連結会計年度における
 業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は令和2年3月期連結財務諸表において、固定資産の減損損失等を特別損失に計上することとしました。また、現在の事業環境を踏まえ、繰延税金資産を取り崩すこととしました。この結果、令和元年11月8日公表の令和2年3月期連結会計年度の業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせします。

1. 特別損失の計上について

当社が所有する固定資産について「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、回収可能性を検討した結果、減損損失2,009百万円を特別損失に計上することとしました。また、保守的な観点から、当社が過去に納品した部品の一部で生じた不具合に係る負担見込み額を製品保証引当金繰入額として678百万円を特別損失に計上することとしました。

2. 繰延税金資産の取り崩しについて

新型コロナウイルスの感染拡大による影響など現在の事業環境を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、繰延税金資産を取り崩し、1,604百万円を法人税等調整額に計上することとしました。

3. 令和2年3月期連結累計期間 連結業績予想値と実績値との差異

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円銭)
前回発表予想 (A)	112,000	2,300	2,000	1,000	29.73
実績値 (B)	110,499	2,410	1,858	△4,014	△119.30
増減額 (B - A)	△1,501	110	△142	△5,014	—
増減率 (%)	△1.3	4.8	△7.1	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成31年3月期)	121,803	4,403	4,381	2,262	67.26

4. 差異及び修正の理由

当連結累計期間の売上高、営業利益、経常利益は前回予想並みでしたが、上記の特別損失の計上などにより親会社株主に帰属する当期純損失が4,014百万円となり、前回予想を下回りました。

以上